

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
 編集：幸報ふじ事務局
 (一般財団法人スマイルアース)
 TEL：0952-57-2341
 FAX：0952-57-2217
 hoonoki@smile-e.org
 住所：富士町藤瀬724-4

伸び伸び子育てしたくて始めた山暮らし、 「地域で育てる」って、本当でした！

今回は、2023年1月から須田地区にお住いの山口朋寛、理子さんご夫妻にお話を伺いました。



佐賀市新栄で育った朋寛さんは、大串の重田慎太郎さん、準之助さんと高校時代の同級生でした。同じ野球部に所属し、重田さん宅へよく遊びに来ていたそうです。その頃から山の暮らしへの憧れや親しみが芽生えたということ。奥さまの理子さんはと言えば、嬉野の山間の自然豊かで地域のつながりが強い環境に生まれ育ちました。ご実家は肥前吉田焼の70年以上続く老舗窯元。取材中に出していただいたコーヒーマグのデザインは、江口製陶所のもので、びっくりするほど色がきれいでした。江



口製陶所は「あさいち」や「鶴瓶の家族に乾杯」でも取り上げられたことがあり、たくさんのファンを持つ人気の窯元さんです。

鍋島小学校で教員同士だったおふたり。ご結婚が決まり、朋寛さんは三瀬小学校に赴任しました。「山の子どもたちは素直で本当にいい子たちでした」と朋寛さん。そして娘さんがお腹に宿ったとき、この子には自然の中で伸び伸び育ててほしいという願いが、おふたりの中で大きくなっていきました。「アパートで子育てするということですが、まったくイメージできませんでした。どうしても畳の上で遊ばせてあげたかったんで

晴好雨奇 富士俳句同好会 (三十六)
 ひなの日に永遠を誓ひて香椎宮
 有里
 春塵や隣国からのおくりもの
 泰子

す」と理子さん。

そうして、地域政策課からの紹介を受け、空き家バンク制度を利用して、現在お住いの古民家に辿り着きました。

「一年ほど前までお住まいだったので、とても良い状態でした。とてもきれいに住まわれていて、取り替えたのは畳と窓くらい。本当に幸運でした」

築年数は登記簿上は不明ですが、聞くところによると明治元年に建ったということ。明治元年と言えば、明治維新の年ですよ！

移住して良かったことをお訊きすると、もうすぐ2歳になる娘さんが希望した通りに伸び伸び育てていること、それからお隣や地域のみなさんとのつながり、というお答えが返ってきました。

理子さんは、よく娘さん連れて、お隣のお宅へ遊びに行く



そうです。お菓子を持って行って一緒に食べたり、お隣さんが飼われている猫と遊んだり、畑で遊ぶ娘さんと一緒に眺めたり。「こいば食べんね」とよく野菜をいただいたりもするそうです。

また、須田のご近所さんだけでなく古湯にも「面倒見たいから預らせて！」と言って娘さんを2〜3時間預かってくれる方々がいらっしやるということ。「地域で育てるって本当なんだ」と実感しました。もちろん、娘に限らず私たちにもとても良くしてくれそうです。

田舎暮らしだからと言って、山口さんの周りにいるのは人生の諸先輩ばかりではありません。同世代の仲間たちもたくさんいて、移住仲間たちは「古湯キャンプ」で音楽イベントやフリーマーケットを立ち上げたりにしています。

「アパートに住んでいたときは、隣に住んでいる人の名前すら知らず、すれ違っても会釈するくらい。ここにある人との関わり合いは本当に温かいです」

朋寛さんは、富士町の野球チームにも所属し、夏の市民大会に出場しているそうです。

娘さんに食べさせたい！という想いから、野菜作りも始めました。ご自宅前に畑が2枚あり、その名も「にわかファーム」。取材に伺ったときは、立派な大根や白菜がたくさんできていま



「にわかファーム」の畑

した。アフリカンアートのような元気をもらえる素敵な看板は、小城に住むお友だちの主催する放課後児童クラブの子どもたちからのプレゼントだそう。児童クラブの子どもたちを招いて、さつま芋の苗植えと収穫の体験会を開いたので、子どもたちがそのお礼として作ってくれました。

体験会は、子どもたちだけでなくおとなのためにも開催。仲間たちとも体験を共有しています。

「作った野菜を収穫して一緒に鍋を囲んだり、みんな、田舎のおばあちゃんのうちに来たみたい、と言ってゆっくりしていいしてくれます」

昨年12月から離乳食が始まった娘さんが、育てた大根、玉ねぎ、じゃが芋を食べてくれたときは、本当にうれしかったそうです。秋には、娘さんと一緒にチューリップの球根をたくさん植えました。

おふたりに、これからの夢についてお訊きました。

理子さんは、昨年12月まで週に1回フリースクールのようなお教室を開いていて、いずれは

仲間たちと小さな新しい学校を始められたら、と考えています。また朋寛さんは、この3月で小学校を退職し、新たな一歩を踏み出そうとしています。移住仲間の建築士、中尾さんを頼って建築の道へ。

「古湯で出会ったからこそ、人生の転機です。建築はゼロからのスタートなので、今年は挑戦の一年になりそうです」

理子さんのお母さまもやはり学校の先生をされていたので、朋寛さんの退職に驚いていたけれど、今では実家の窯元の売り場をリフォームしたいという話をしてくれたり、応援してくれているということ。

「この家も、少しずつ自分たちでリフォームしていきたいです」と理子さん。

「娘もできることが増えていくので、畑でも家のことでも何でも一緒に楽しんで暮らしていきたい」

と話すおふたり。家族で協力して楽しみながら、明るい未来に向かい一歩ずつ歩んで行こうとする姿が、本当にまぶしく見えました。

(記事 恵良五月)



温泉病院だより

「感染症の予防は、正しい手洗いが効果的！」

手洗いは、私たちの健康を守るために非常に重要です。手を適切に洗うことで、病気を予防し、感染の拡大を防ぐことができます。

【感染予防】

手には目に見えない細菌やウイルスが付着しています。これらが口や鼻、目などに触れることで病気に感染するリスクが高まります。手洗いでこれらの病原体を除去することができます。

【日常生活の衛生】

料理をする前や食事の前に手を洗うことで、食中毒のリスクを減らすことができます。また、トイレの後や外出から帰宅した時も手洗いが推奨されます。

【感染拡大防止】

風邪やインフルエンザなどの感染症は、手を通じて広がる可能性があります。手洗いを徹底することで、他の人へ感染を防ぐことができます。

手洗いはシンプルですが、健康を守るためには非常に効果的な習慣です。

ぜひ、日常生活に取り入れてみてください。

外来科 看護師

加藤 里香



外来科スタッフ

佐賀市立富士大和温泉病院
電話 63-0111
ホームページ
<http://www.hospitalfj.saga.jp/>

神水川パークゴルフ場 大会日程 TEL51-7005

29日(木)	一般研修会
24日(土)	神公協月例会
7日(水)	ペア大会
21日(水)	一般者大会
5月の予定	
19日(土)	神公協月例会
25日(金)	内藤杯
定休15日(火)	
2日(水)	ペア大会
19日(土)	神公協月例会
25日(金)	内藤杯
4月の予定	
2日(水)	ペア大会
19日(土)	神公協月例会
25日(金)	内藤杯

参加者募集中！
変更や中止になることがあります。

会場 富士公民館
(フオレストふじ)
開催日 毎月第4木曜日
4月24日/5月22日
時間 13時30分～15時00分

富士音楽サロンのご案内

富士ふれあい広場 (旧富士ふれあい一む) 開館日：火・木曜日 (祝日閉館)

4・5月の予定 場所：富士支所2階 時間：10時～15時30分
ふれあい広場は親子でのんびり集える場所です。

子どもは地域の宝！どなたでも遊びに来てください♪



- ★ 4月の予定 ★ (※全日程 要予約)
- 8日(火) ぐんぐんkids 季節を楽しもう
- 24日(木) Decoカレンダー (要予約) 5月と6月
- ★ 5月の予定 ★ (※全日程 要予約)
- 13日(火) ぐんぐんkids Book cafe (春)
- 20日(火) タッチケア オイル代300円
- 大きめのタオル・飲み物をご持参ください



問合せ先：
大和ふれあい広場
37-3716

おたっしや本舗富士

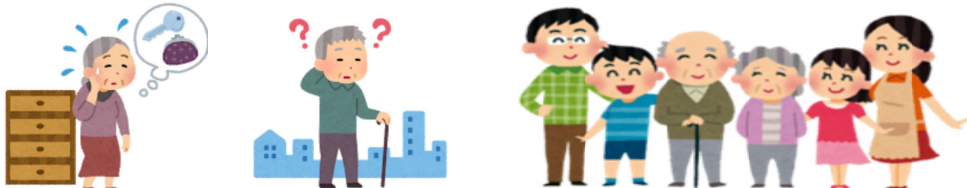
おたっしや本舗富士からのお便り

これからの時代の認知症との向き合い方

新しい認知症観について知ろう
新しい認知症観とは…認知症だから何もできなくなるのではなく、認知症になってからも一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間と繋がりがながら希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方。
(2025年現在、国の方針ではこの考え方を推進しています。)



近年、新聞やテレビ等のメディアで、「人生100年時代」という言葉よく見聞きするようになりました。日本は超高齢化社会に突入しており、佐賀市でも高齢者人口は増加し続けています。厚生労働省の調べでは2040年には65歳以上の高齢者の約6.7人に1人は認知症になるとの推計も発表されています。認知症の一番の発症リスクは「加齢」。加齢と認知症は地続きと言われています。生活習慣の予防や歯周病予防は認知症の予防にも有効と言われていますが、「予防」だけでなく、認知症になる「備え」も大切です。まずは認知症になることを他人事ではなく、自分事ととらえ、「物忘れが増えてきたかな？」感じ始めたら、ひとりで悩まずに、家族の方やおたっしや本舗、医療機関等に早期に相談することが大切です。



お問い合わせ先
おたっしや本舗富士 (富士支所1階) TEL ☎ : 0952-58-2810
お気軽にお問い合わせください。

4・5月の行事予定

4月
◆町内小・中学校入学式



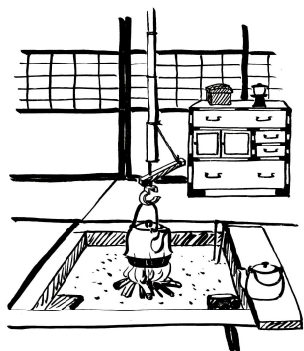
5月
◆富士音楽サロン 24日

◆弁財天祭 (町内各地)

◆富士音楽サロン 22日

※行事につきましては順不同、日程の変更があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となる場合があります。ご了承ください。

富士町の民話



富士町の民話

草浦の地主さん (一)

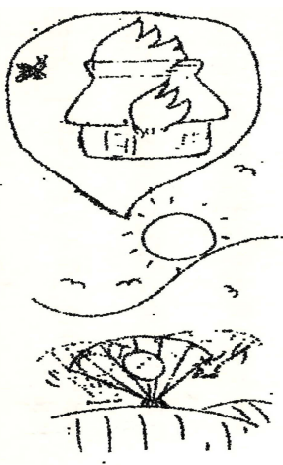
むかし、
ちやうど、六月の田植えの時分。
草浦の地主さんが、重野の五反角は田植えしよんさつたて。そして、あとましかつとで、しまゆつていう時、日の暮れてしまつたて。そいで地主さんは、「こりゃあこまつた。ないだけ今日この五反角いっちは、植えてしまわんばいかんとい。」
「いっちょよ、お天とうさんば、あおいでなつとみか。」と、日の丸の扇ばだして、「お天とうさん、まいっちょ昇れ、まいっちょ昇れ。」と言いながら、あおぎんさつたぎ、西の空が赤々

と明るうなつたて。

そいで地主さんは、「こりゃあよかつた。早う今んうちこの明いで、植えてしまわんば。」と、田植えさん達は、おろたえさせて、その西の空の明いで、田植えばしてしもうて、喜んで家に帰んさつたて。家では、地主さんのふうけ息子が、軒にあつた蜂ん巣ば見て、「下からもむやあたこんなあ、蜂い刺されいじ、あの蜂ん巣のとりやあすんみあか。」と思ひ、軒に火をつけやつたもんじや、地主さんの家は、丸焼けになつてしもうつたて。

地主さんが、西の空ば、日の丸の扇であおぎんさつた時、西の空の赤々と明るうなつたとは、地主さんの家のつん燃えよつた時の明いやつたて。

草浦 佐保伊勢松 (当時88才)
民話12頁から13頁



みんなの声

皆さんからの声をお待ちします。掲載できるものであれば、どんどん載せていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

幸報ふじ事務局

次号『幸報ふじ』は
5月下旬の発行予定です。

『幸報ふじ』は、インターネットでも閲覧・ダウンロードができます。
ウェブサイト <http://www.smile-e.org/kohoufuj.html> に掲載しています。